



日高山脈館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER



今号より紙面掲載となりました。
よろしくお願いたします。

第2号 2010.6.

ゴールデンウィーク、イベントを開催しました。

ゴールデンウィークは宝石が！

5月1日～5日、8～9日に「宝石すくい」を開催しました。規模は小さいですが、いろんな種類の本物の宝石がすくえるとあって、期間中は大いに賑わっていました。子どもだけでなく、大人も夢中になっていました。また、5月8～10日には、「日高山脈館クイズラリー」を開催しました。日高山脈館を見学すると答えがわかるクイズでしたが、学芸員の問題の設定が少々いじわるだったのか、「じっくり見学しないと答えがわからない」という感想もいただきました（実はそれが狙いでした）。両方のイベントで、門別地区からも多くの参加がありました。これらのイベントは、特別企画として、夏休み期間中などにも計画しています。詳細が決まりましたら、広報日高などでお知らせしますので、お楽しみに。とくに、クイズラリーは、また新たに問題を作り直しますので、今回参加された方もお楽しみいただけます。次回も珍問奇問の類もあるかもしれません…。よろしくお願いたします。



日高山脈ネイチャーセミナー 2010 第2回「日高の地質を歩く」7月4日開催！
第3回「沙流川川遊び」7月19日開催！
くわしくは山脈館まで！

特集『ジオパーク』 ①

ジオパーク (Geopark) を知っていますか？

最近、新聞などで“ジオパーク”のニュースをよく目にするようになりました。北海道ではアポイ岳や洞爺湖有珠山などがジオパークとして認定されていますが、ジオパークとはどういうものなのでしょうか？

ジオパークの「ジオ (geo)」は「地球」を意味します。「パーク (park)」は「公園」ですので、ジオパークは「地球の公園」ということになります。「地球」と考えたとき、そこにはいくつもの自然現象（海、山、川、動植物、岩石地質、地層、火山など）や文化（遺跡や史跡など）があります。

ジオパークでは、それらのかけがえのないものを守ることはもちろん、共通の財産として知ってもらうことが重要なことであり、地球のある地域のなかの特徴的な自然現象や文化を観察できる場所

（ジオサイト）を保存し、かつ観察路やガイドなどを設け、観光や研究などさまざまな目的を持った人々が気軽にジオサイトを訪れることができるような地域のことを、ジオパークとして認めているのです。

ジオパークのスケールに決まりはありませんので、どのジオサイトを1つのジオパークとしてまとめるかは自由です。ただし、そのためには、考え方=コンセプトが必要で、どういう考え方のもとで、ジオパークをまとめるかが重要となってくるのです。

(次号に続きます)

ジオパーク

コンセプト



ジオサイト
(例：植物)



ジオサイト
(地質・岩石)



ジオサイト
(例：文化・史跡遺跡)



ジオサイト
(例：動物)



ジオサイト
(博物館)



ジオサイト
(例：山・登山)

ジオサイトの核*

※ジオパーク運営の中心組織ではありません。